

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
1	1	I	1 計画策定の趣旨	「読書」は人生におけるもっとも基本的年代における知識の基礎を築くものであり、秋田市の大発展のため、子どもの読書活動の推進は実に的確な施策であり、深く敬意と感謝を申し上げます。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
2	2	I	5 計画の対象範囲	法律にも「子ども(おおむね18歳以下の者)」とあるが、「おおむね」の意味合いがよくわからないので教えて欲しい。	子どもの年齢の定義は各種法令によって異なっており、子どもの読書活動の推進に関する法律においては「おおむね18歳以下の者」と定義されていることから、本市においてもこの法律の考え方に則り、計画を策定するものです。
3	3	II	1 乳幼児の読書活動 (ブックスタート推進事業)	ブックスタート推進事業について、配布される本を既に持っている場合もあるので、事前に数冊指定されている中から2冊選べるシステムになるといいと思う。参加する方の中には、子どもに絵本を選ぶのが初めて、という方もいると思う。市がおすすめしてくれる絵本の中から、我が子の興味や関心を考えながら、2冊を選ぶ、というのも、子どもに本のおもしろさや大切さを伝えていくことの第一歩だと思う。	配布予定の絵本を既に持っている方へは代替本を準備しておりますので、事前に絵本を選べるシステムにする予定はありません。 絵本を配布する際には、おすすめの絵本の情報をチラシにてお伝えしております。
4	3	II	1 乳幼児の読書活動 (ブックスタート推進事業)	素晴らしい事業だと思う。乳幼児健診に参加したわけではないので様子はわからないが、保健師によりこの時期の絵本の読み聞かせが親子にとってどんなに大切かという具体的な指導も必要だと思う。親の懷に抱かれ安心し、聴く耳を作る、毎晩寝る前に10分でも読み聞かせの習慣を作っていくと将来本に親しむ子ども達が多くなるのではないかと思う。	本市におけるブックスタート推進事業は、図書館や公立保育所を会場に行っており、絵本を配布する際には、乳幼児期の読み聞かせの大切さなどについてもお伝えしております。
5	3	II	1 乳幼児の読書活動 (ブックスタート推進事業)	ブックスタート推進事業の制度を初めて知った。大いに進めてほしい。	今後も事業の推進に取り組んでまいります。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
6	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (ブックスタート推進事業)	ブックスタート推進事業については賛同する。乳幼児期に親が子どもに読み聞かせをすることは子育てにとっても重要だ。 子どもが親の愛情を感じ、本の楽しさを感じていくのもこの時期だと思う。	今後も事業の推進に取り組んでまいります。
7	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (ブックスタート推進事業)	ブックスタート推進事業は4か月以上1歳未満の乳児と保護者を対象にしているが保育園に入園している子は対象にならないか。おはなし会の予定は決まっています勤務のある保護者はなかなか連れていけないようだ。	ブックスタート推進事業は、4か月以上1歳未満のすべての乳児と保護者を対象としていることから、保育園等に入園している子どもも対象となります。 また、おはなし会の開催会場や回数の増加を図るなど、より参加しやすくなるよう努めるとともに、フォンテ文庫においては、事前にご連絡をいただければ指定日以外でも参加できることを広く周知してまいります。
8	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (親子の絵本プラン)	親子の絵本プランは良い事業だと思う。実施の際は当該世帯にもれなく詳細がわかる広報を期待する。	親子の絵本プランについては、広報あきたおよび市のホームページ等を活用し、引き続き周知に努めてまいります。
9	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (親子の絵本プラン)	在宅子育てサポート事業については、全く知らなかった。私たちの暮らしには、社会保障やさまざまな支援は欠かせないが、どこまでサポートが必要かは人それぞれである。 読書活動にクーポン券の発行は必要か。どのくらいの予算で行っているのか。	在宅子育てサポート事業は、5つの子育て支援プランで構成され、利用者が自ら利用するプランを選択するものです。親子の絵本プランは、そのプランの中の1つで、絵本を通して親子のコミュニケーションを深めてもらうことを主たる目的としており、実施の意義は大きいものと認識しております。 なお、平成28年度の予算は、5,315千円となっております。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
10	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (親子の絵本プラン)	サービスを利用するものは市からクーポン券を受けるとあるが、一口に市と言ってもどこなのか。登録を受けている書店はどこなのか。勉強不足で素人の私ではただただ面倒であり、一方的な提案のように思えた。	在宅子育てサポートクーポン券の交付申請は、子ども未来センター、子ども育成課、各市民サービスセンター(中央・東部を除く)、公立保育所の窓口で受付しており、申請された方にはクーポン券が使える協力書店名を記載したパンフレットを配布しております。 今後も、広報あきたおよび市のホームページ等を活用し、周知に努めてまいります。
11	3	Ⅱ	1 乳幼児の読書活動 (親子の絵本プラン)	保護者が乳幼児期の子どもの本をどう関わらせるかでその後の成長に大きく影響するのは自分自身実感している。親子の絵本プランやかぞくぶっくぱっく事業の取組は目新しく素晴らしいと思うが、どのくらい普及しているのか。ブックスタート推進事業ほど親子の絵本プランは明示されていない。	平成27年度の親子の絵本プランの利用者数は2,514人、かぞくぶっくぱっく事業の貸出数は2,676パックでした。今後も、より多くの方に利用していただけるよう、各事業の周知に努めてまいります。 なお、親子の絵本プランの利用者数について、計画に記載しました。
12	4	Ⅱ	1 乳幼児読書活動 (今後の課題 ア)	情報化はとても早いスピードで進んでいるので家庭における読書離れが心配。危機感を持って対応しなければならないと感じた。関連して12ページの写真(保育所での読み聞かせの様子)には行儀良く一生懸命聞いている姿が載っている。親にもこの様子を知らせて家庭のあり方を考えるきっかけにしたら良いと考える。	様々な機会を捉え、保護者に対し絵本の楽しさや家庭での読み聞かせの大切さを伝えてまいります。
13	4	Ⅱ	1 乳幼児読書活動 (今後の課題 ア)	絵本を通じた親子のふれあいの時間を持つために、親に絵本を好きになってもらう。親子で絵本の読み聞かせに参加する機会を増やす。たまには、親たちに対しての読み聞かせをする。親に読んでもらう楽しさ、面白さを知ってもらう。	様々な機会を捉え、保護者に対し絵本の楽しさや家庭での読み聞かせの大切さを伝えてまいります。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
14	4	Ⅱ	1 乳幼児読書活動 (今後の課題 ア)	スマホ、タブレットの普及により便利ではあるが、想像力が欠けてきたのではないかと、思うことが多々ある。本を読むことの楽しさ、本の中には夢があることをいかに伝えるかがとても大切だと思う。	家庭や地域、学校など、様々な場において、読書の楽しさや大切さを伝えてまいります。
15	4	Ⅱ	1 乳幼児読書活動 (今後の課題 イ)	自分の子どもが幼稚園の時に発表会があり、「教室にいる子ども達を見てください」と頼まれた。ワイワイ、ガヤガヤ動き回っていた子どもたち。その時教室にあった本を読み聞かせた。すると教室がシーンとなり、じっと本に耳を傾けていたのを覚えている。本には不思議な力があるのだろう。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
16	4	Ⅱ	1 乳幼児読書活動 (今後の課題 イ)	先生たちの研修会で情報提供はもちろんだが、若い先生たちにも絵本を読んでもらう体験をしてもらって、気に入った本を子どもたちにも読んであげてほしい。できるだけ小さいうちにいろいろな絵本に出会わせてほしい。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
17	4	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (これまでの取組および成果全般)	小・中・高校生の読書活動を支援したとあるが、高校での取組状況が明示されていないのはなぜか。 また、学校図書館の利用率は。	高校生に対する取組状況については、読書の大切さを記載したチラシの配布や読書案内の発行、ワークショップの実施などに関して記載しております。 また、学校図書館の利用率についての調査は行っておりません。
18	4	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (これまでの取組および成果全般)	高校生についての記述をもっと充実させた方がよいと思う。	高校生に対する取組状況については、読書の大切さを記載したチラシの配布や読書案内の発行、ワークショップの実施などに関して記載しております。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
19	4	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (全校読書活動)	読書は全く個人的に行う行為である。全校読書活動について、一斉に行うことにはある種の押しつけと不健全さを感じる。読書嫌いになったり、家では読まないといったことになることを心配する。	全校読書活動は、子どもの感性や豊かな心を育てるために各校で行っている取組であり、読書の習慣を身につける貴重な機会であると捉えています。
20	5 ・ 7	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 4 図書館の活動	読書活動に関する各校の取組状況のパーセントや図書館における児童書の新規購入冊数が一気に増えている箇所がある。この二つについては、理由があると思うが、きっかけになったことを分析してこれからの読書活動の推進につながればよいと思った。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
21	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (読書マラソン)	記録することにとどまらず、読んだ本の一行感想等の記入もあれば、後の参考にもなるし、友達との本の交換もでき、コミュニケーションづくりにもなると思う。	いただいたご意見については、小・中学校での読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
22	5 ・ 6	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 ア) 3 読書関係ボランティアの活動	現在の取組では学生ボランティアや学校図書館サポーターが読み聞かせ等を行っているとなっているが、それだけではなく、小学校高学年の生徒が乳幼児や幼稚園児に、中学生・高校生が小学校低学年の児童になど、学生(小中高校生)によるボランティア活動も行うことで、乳幼児に対する読書の推進とともに、小中高校生の図書館利用の促進、ボランティア活動の充実にもつながるのではないかと考えた。	図書館では、小学生を対象にした体験講座や中高生の職場体験などで乳幼児に対する読み聞かせを行うとともに、小・中学校においても、子どもが読み手となる読み聞かせや保育所等への職場体験での乳幼児に対する読み聞かせ等を行っており、今後もこれらの活動の充実を図ってまいります。
23	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	読書への意欲喚起ということで、現在は文庫本が原作となって実写化された映画などもあるので、そのような情報も絡めて本の紹介をすることで読書習慣がない生徒も興味を持ちやすいと思う。	いただいたご意見については、本の紹介や展示を行うにあたり、参考とさせていただきます。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
24	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	それぞれ受験を控えて一段と読書の余裕がないのは理解できる。要はその後の社会人になってからのデータが本計画の対象外だが今後の活動目標のためにもぜひほしいところである。	子どもの頃に読書の習慣を身につけることが生涯を通じた豊かな読書活動につながると考えております。
25	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	学力(国語力)の低下を危惧しているのか。本を読むことは大切だが、このように情報が多様化する現在、手段も多様化して当然だと思う。本に限らず新聞の利用もどんどん取り入れるべき。	読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものであると考えております。
26	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	読書が好きではない子どもに本を読ませるのはなかなか大変だが色々な施策が考えられているようで素晴らしい。これを実行することで読書への意欲、関心が高まるのではないかと。NHK.Eテレ、「子どもの読書」についての番組で学者が言っていたが、語彙力や読解力をつけるには、本を読むだけではなくて書くことも大切だということだった。むしろ文章力をつけるためには書くことの方が大事らしい。心の動きを文字に書き換える日記などでトレーニングが重要だと言っていた。読んだ本の内容を人に説明するのも知識が記憶に定着するらしい。本を読むINPUT→文章を書く、説明するOUTPUT、両方で知識になるということだった。	いただいたご意見については参考とさせていただきます。
27	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	本を読まない子どもでもスマホやタブレット端末を上手に使いこなしているのが、電子図書を配付し、読書への関心をつなぎ止めてはどうか。	電子書籍の貸出しについては、普及状況や身体への影響、導入にあたっての費用負担等を考慮し、将来的な検討課題と捉えております。
28	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	表現がやさしく分かりやすく、内容が充実していておもしろい、身につく本をそろえる。 興味が出たら更に高度なものをすすめる。親やスタッフが本好きで助言できるスキルを持つこと。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
29	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	学校の図書室でも、明德館のようにリクエストカードを用意して、子ども達を読みたい本を買ってほしい。先生が選んだ本だけではなく、子ども達の選んだ本が図書室に並べば、もっと本を読む子どもが増えると思う。	学校図書館が子どもにとって魅力ある場となるよう、学習に役立つ資料のほか、子どもの興味や関心に沿った選書に努めております。
30	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	普段本を読まない子どもに本に関心を向かせるには、本が「面白そう」と感じないと読む機会はないと思う。	小・中学校においては、子ども同士での読書はがきの交換やブックトークの実施など、読書の楽しさが伝わる取組を行っております。
31	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	読書への意欲がないのはなぜか。その要因が何なのか気になる。 授業以外に読書をしない子どもの要因は、 ・子ども自身の意欲の欠落 ・子どもの家庭・経済的な環境 ・子どもの保護者の読書への意識欠落 ・ゲーム・スマートフォン・インターネットなど手軽に楽しめる方向にいつてしまう。 ・学校での細やかな指導の漏れ それらの要因を解決するためには行政・学校・家庭(保護者)三者が一体となった取組が必要かと考える。 それは、本を読まない子どもの潜在している能力を引き出すこと、芽生えさせることにつながる指導だと思う。 その具体的な指導方法は基本の個別指導である。子どもが置かれている環境は一律ではないために個別に寄り添った対応と指導が必要だと思う。その指導によって得られた経験と実績は読書する子どもにも活用してより深みのある読書力を身につける指導ができるかと思う。その方面も立案してもらいたい。	いただいたご意見については、図書館や関係機関の研修の際に参考とさせていただきます。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
32	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	中学校のパーセンテージが低いのは、学校側でも勉強の方が忙しく時間が取れないのではないかと思う。地道に続けていくといつかきっと成果が得られると思う。小説・偉人・歴史・スポーツ・科学・音楽・料理・旅行・秋田の色んな事・色々な分野からあまり堅苦しくない読み聞かせやブックトークの取組を楽しみながら活動したらどうか。	いただいたご意見については、学校での読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
33	5	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	本を読むのが嫌いな子どももいると思う。いつか“この本を読んでみたい”と思うときがきっとあると思う。	子どもに読書の楽しさや大切さを伝え、自ら読みたい本に出会うことができるよう支援してまいります。
34	6	Ⅱ	2 小・中・高校生の読書活動 (今後の課題 イ)	高校生の読書率が悪いようだが、数学の計算問題が解けても応用問題が読解力不足で解けないと聞いたことがあった。また、大学進学でも推薦の場合、小論文があるようでそのためにも本を読んだ方が良いのでは。 また、文系だけでなく、理系でも記述問題が多く出題されるようなことをニュースで聞いたことがある。本の内容だけでなく、構成や言葉の使い方等参考になり、人生においても読書は大事であり、役立つのではないだろうか。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
35	6	Ⅱ	3 読書関係ボランティアの活動	学生ボランティアはすばらしいアイデアだと思う。何人の応募があり、どのような活動をしたのか、募集は大学生(専門学校生)だけか、高校生もか。高校生も保育士志望の学生と限定しないで募集してはどうか。本好きな生徒もいるし、ボランティア活動に興味のある生徒もたくさんいると思う。	フォンテ文庫では、おはなし会や工作会を手伝っていただくボランティアとして、保育士等をめざす短大生や大学生を募集しております。(平成26年度17名 平成27年度3名) なお、このフォンテ文庫の学生ボランティア以外のボランティアについては、各図書館において年齢を問わず募集しており、高校生の方も応募していただけます。
36	6	Ⅱ	3 読書関係ボランティアの活動	高齢化は今後も進むので、学生ボランティアの拡充が出来れば新しいボランティアの発掘にもなるのでは。(高校生、短大生、中学生の職場体験など)	図書館では、中高生等の職場体験やインターンシップの受入を行っております。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
37	6	II 3	読書関係ボランティアの活動	どのようなボランティア団体があるのかを記載してほしい。	各図書館を活動の場としているボランティア団体については、市のホームページで紹介しております。このほかの団体等についても、今後、ホームページなどでお知らせしてまいります。
38	6	II 3	読書関係ボランティアの活動	読書関係のみならず、他の活動においても秋田県民のボランティア参加意識が希薄である。子どもの頃からボランティアに参加する意味などの学校での教育、家庭での意識づくりが必要。長い取組が必要だと思う。	いただいたご意見については、参考とさせていただきます。
39	6	II 3	読書関係ボランティアの活動	ボランティアの協力が欠かせないと考えますがボランティアの交通費の支給等がされているのかが具体的な記述がなかったので非常に疑問に感じた。	本計画は、子どもの読書活動を推進するための方向性を示すものであることから、各事業の詳細な内容については記載しておりません。 なお、各図書館で協力を求めたボランティア団体については、謝金をお支払いしております。
40	6	II 3	読書関係ボランティアの活動	学生だけでなく、退職教員や小学校の保護者にも募集して協力してもらおう。(特に、保護者に関心を持たせることが子どもの読書に対する興味・関心を高めることになるかと思う。) ボランティアは無料奉仕だが、協力員として交通費とか図書券等、何らかの形でお礼として給付する。(時間とお金がかかるので、ボランティアをしてみたいが取り組めない人が少なくない。私自身、誘ったときに言われたことがある。)	図書館ボランティアについては、年齢を問わず募集しており、各図書館で協力を求めたボランティア団体については、謝金をお支払いしております。
41	6	II 4	図書館の活動	図書館自体の施設整備等の具体例が挙げられているが実際に利用する人たちの要望等のアンケート調査が行われ計画されているのか。 また、本の冊数の集計はあるが、来館者数の比較が重要ではないか。同一人が何冊も借りていく場合があると思う。	記述している施設整備については、利用者からの要望等に基づき対応を行ったものです。 また、図書館の来館者数については、児童書を目的に来館される方の集計や年齢別の集計は行っておりません。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
42	7	II	4 図書館の活動 (かぞくぶっくぱっく事業)	文中の記述について、15ページの主な取組では「かぞくぶっくぱっく事業」の利用促進・・・のようにかぎかっこで記述されており、わかりやすいので統一すべきだと考える。	ご意見に基づき、事業名称については「 」で表記いたしました。
43	7	II	4 図書館の活動	幼稚園では毎月新しい本が配布され、3年保育ではかなりの冊数である。私はそれらを病院の本棚へ寄付しているが、他の方はどうしているのか。本のリサイクル方法もあると、無駄にならず本を頼りに時間を過ごす場へ託せる。(多くは古本または廃棄されるのかもしれない)	絵本のリサイクルについては、家庭で読まなくなった絵本を保育所など子どもの利用する施設へ配布する事業を秋田県が実施しており、市立図書館においても受付窓口となっております。
44	7	II	4 図書館の活動 (今後の課題 イ)	障がいのある子どものための資料の充実には特に力を入れて欲しい。共生社会は大事である。	障がいのある子どものための資料の充実に努めてまいります。
45	3 8	II	II章 全体	章のタイトル「子どもの読書活動の現状と課題」に対して、本文の構成は「これまでの取組および成果」、「今後の課題」となっている。 本文における「現状」に対する書き込みや整理が十分でなく、タイトルと内容が一致していないように感じた。 学校での取組状況や図書館の貸出実績などはわかったが、秋田市における年齢別等の読書の頻度やその内訳、親の意識など、現状がどうなっているのか、それに対する市の問題意識がどうなのか、基本的なことがよくわからない。 第1次計画で整理されていた現状と課題が、この5年間の取組でどう変わってきたかを検証し、その上で積み残された課題(=今後の課題)は何であるかを書いていく流れにした方がよりわかりやすいのではないかと考える。	第II章「子どもの読書活動の現状と課題」では、第1次計画で設定した課題に対する取組の成果を検証した上で現状を捉え、第IV章「子どもの読書活動推進のための取組」に今後の取組を記載しております。
46	9	III	1 計画の目標	計画の目標が達成できれば素晴らしいと思う。	子どもの読書活動の推進に資するため、第2次の計画に基づき各事業の充実に努めてまいります。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
47	9	Ⅲ	1 計画の目標	「充実した読書環境の整備」の一言に、すべての取組が包含されているとの理解で良いか。	いただいたご意見のとおりです。
48	10	Ⅳ	1 家庭・地域における読書活動の推進 (1)家庭 (ブックスタート推進事業) (親子の絵本プラン)	ブックスタート推進事業と親子の絵本プランの取組はともいいが、利用したことがある者からすれば、最初だけという感じがした。 ブックスタート推進事業は、1歳児、2歳児・・・と年齢に合った本を健診時に配布するなど継続的な支援があればいいと思った。 また、同じく親子の絵本プランはなぜ、未就学児のみ対象なのか、保育園に入っている自宅でも本を読む習慣が全家庭であるわけではないと思うので、1年に1回くらいクーポン券のようなものを配布してもいいのではないか。	ブックスタート推進事業は、絵本の読み聞かせのきっかけをつくることを目的に実施しており、現在のところ対象年齢の拡充は考えておりません。 また、親子の絵本プランは、在宅で子育てをしている世帯を対象とした事業の一つとして行っているものであり、対象を保育所や幼稚園に入所(園)していない未就学児童としています。
49	10	Ⅳ	1 家庭・地域における読書活動の推進 (1)家庭 (ブックスタート推進事業)	ブックスタート推進事業は何歳の乳児を対象とするのか。 自分たちの子どもを育てた時を回想すれば、色々な機会を捉えて毎月必ず本を与えていた。本を読むためには、落ち着いた環境と集中する時間が必要だと思う。子どもも友人たちとの間で話題になっている本の話をよくしていた。	ブックスタート推進事業は参加日時時点で4か月以上1歳未満の乳児を対象としています。 いただいたご意見については、今後子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
50	10	Ⅳ	1 家庭・地域における読書活動の推進 (1)家庭	秋田市から図書券の贈り物は考えていないか。	図書券の贈呈については考えておりません。
51	10	Ⅳ	1 家庭・地域における読書活動の推進 (1)家庭 (移動図書館)	親子が集う場所への移動図書館の特別巡回は「出前」方式ですごくいいアイデアだと思う。12ページとも関連するが、保育園に預けているお母さんの話を聞いたら、お迎えの時間に移動図書館が来てくれるといいという話があった。	保育園への送迎時間にあわせた訪問は、駐車場の確保の問題や、個々の送迎時間が異なるなど巡回時間の設定が難しいことから、巡回は困難であると考えております。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
52	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (2) 保護者への啓発	保護者が読書にいかに関心を持って子どもと一緒に楽しめるかが問題だと思う。「かぞくぶっくぱっく」を数多く活用して親子の時間を多くとるようにできたらよい。	かぞくぶっくぱっく事業の利用促進を図り、家庭での読書活動を推進してまいります。
53	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (2) 保護者への啓発	「おすすめの絵本」「本の紹介」だが、単に書名と表紙の紹介に終わらずに、おすすめの理由を付けてほしい。おすすめする人によって、大分違うと思うので、いつも同じ人(ところ)の推薦ではなく、貸出回数の多いものや読み聞かせの方、お母さんたちのおすすめの本など、定番のおすすめにならないような工夫も必要だと思う。	いただいたご意見については、本の紹介を行うにあたり、参考とさせていただきます。
54	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (2) 保護者への啓発	朝の通勤のバスの中で男性が本を読んでいた。そのご家族は子どもさんを含めてさぞ読書一家と存じ、子どもの読書のためにはまず親がそのお手本を示す必要性を強く感じた。	様々な機会を捉え、保護者に対し読書の大切さを伝えてまいります。
55	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (3) 地域の施設	仙台市では市内8図書館+10分室、移動図書館3台で貸出環境が充実している(返却は18の拠点どこでも可能。)。市民サービスセンターを図書館分室として利用し、インフラ整備が必要。	現在、4つの図書館、河辺分館、フォンテ文庫および移動図書館において市内全域の図書館サービスを行っており、市民サービスセンターに図書館分室を整備する予定はありません。
56	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (3) 地域の施設	いーぱる読書室にもっと絵本や子ども向けの本、大人向けの本を全体的に増やしてほしい。	いーぱるの読書室については、図書館からの配本を行っており、今後も配本内容の充実に努めてまいります。
57	11	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (3) 地域の施設	地域の行事(コミセンまつりなど)に子ども向けのコーナーの一つとして、おはなし会や読み聞かせなどをする(大型紙芝居なども)。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
58	11 ・ 12	IV	1 家庭・地域における読書活動の推進 (2)保護者への啓発 2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進	<p>読書が人間として豊かな人生を歩んでいくために必要なことは周知の事実である。そして本計画は読書活動を推進していくために非常によく検討されているとわかるものとなっている。しかし読書活動を推進していくと同時に、具体的に対策を立て実施していかななくてはいけないことがある。それは、現代社会において生後間もないころから影響を受けているメディアとの過剰接触への対策だ。</p> <p>現代の子どもたちは、生まれたと同時にテレビ、DVD、テレビゲーム、スマホ、パソコン・・・など、ありとあらゆる電子機器と接触する環境にあり、それによって読書に向かう時間と興味を奪い取られてしまっている。そのような社会的な環境下で、読書活動を推進しようとしても十分な成果は上げられない。そこで行政が中心となって、0～6歳までに必要以上にメディアと接触することを避けるような活動を推進して欲しいと思う。</p> <p>具体的な活動としては</p> <p>①専門家による講演会などを通じ、メディアとの過剰接触により適正な成長が妨げられていることの紹介や、メディアとの接触をやめたことによって改善した例などを紹介してもらう。</p> <p>②ノーテレビデーなどを実施して、メディアとの接触を減らす。</p> <p>③保育園や幼稚園でテレビの使用を避けるよう指導する。</p>	<p>日常生活の中で読書の習慣を身につけることができるよう、関係機関とも連携を図り、子どもや保護者に対し読書の楽しさや大切さを伝えてまいります。</p>
59	12	IV	2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進	<p>保育園では毎日絵本を見たり、読み聞かせをする機会を多くしている。保育園における読書活動の推進には概ね賛成である。</p>	<p>素案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>
60	12	IV	2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進	<p>低年齢ほど読書や読み聞かせによる学習効果は大きいと考えている。だからボランティアによる読み聞かせは有効なため継続すべき。中・高と進級するにつれ、部活などに熱中するから、個人的には手厚く取り組む必要はないと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
61	12	IV	2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進	<p>認定こども園に通園している孫がおり、週末には園より本の貸出をしてもらい、読んでいる。</p> <p>小学校に入学する前に自分で読む楽しさを覚えたようなので、もっと蔵書があるといいかと思い、図書館の団体貸出の活用の取組を考えてほしい。</p>	<p>図書館の団体貸出の利用促進に向け、各施設への周知に努めてまいります。</p>
62	12	IV	2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進	<p>子どもが本を読むことが楽しい、本が大好き！と思ってもらうことが一番だと思う。小さいうちから本に親しむことが第一だと思う。</p> <p>保育所、幼稚園、認定こども園において、保護者参観日など親と関わる日が必ずあると思うが、その日に親と兄弟と祖父母と本に触れる時間を持つというのはどうか。読み聞かせるのもよし、絵本の絵の話をするのもよし、子どもが本を好きになってもらうことを目的として保護者との時間を設けるのはどうか。</p> <p>家庭では、保護者が忙しく、ゆっくり子どもと本を読む時間が取れない場合もある。保育所、幼稚園、こども園内でそんな時間を設けられたらいいのではないかと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、保育所、幼稚園、認定こども園等にも伝え、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
63	12・13	IV	2 保育所・幼稚園・認定こども園等における読書活動の推進 3 小・中学校における読書活動の推進 (1) 読書に親しむ機会	<p>読み聞かせの実施は大変有効な活動と思われるが、「聞かせる側の技量、質の高さ」、「参加者数をいかに増やすか」が重要になってくると思う。</p> <p>上記の二つの達成を目的として、有名な役者、作家、声優、芸能人などを招いての読み聞かせ会(朗読会)を開いてもいいと思う。読み聞かせのボランティアの人たちにホンモノを見て学んでもらう機会を作る、また有名な人を招くことで参加者を増やすことができると思う。</p> <p>読書会と観劇、読書会の後に参加者で作品の一場面を寸劇で再現してみる、作品の一場面を絵で表現してみる、など読書にプラスアルファの活動を付け足したような会も面白いかもしれない。</p> <p>特に、低学年の子どもには、本を読んで楽しむという目的とは少し異なる角度から本を読む習慣を身につけさせるというアプローチがあってもいいかもしれない。</p>	<p>いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>
64	13	IV	3 小・中学校における読書活動の推進 (1) 読書に親しむ機会	<p>生徒にファイルや本の題名、出版社、記入月日、読書感想、教師の確認印欄を設けた用紙を配布して、毎月または隔月毎に提出してもらい、読書内容の傾向を把握できるようにする。</p>	<p>いただいたご意見については、小・中学校での読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>
65	13	IV	3 小・中学校における読書活動の推進 (1) 読書に親しむ機会	<p>本の紹介をどのようにするか読む側が興味を持つかのポイントになるかと思う。本屋の店頭ポップのような内容になると良い。</p> <p>読書マラソンで冊数、ページ数の競争も面白いが、一言感想やつぶやきなども次の人が読みたい、面白そうと思うきっかけになると思う。</p>	<p>いただいたご意見については、本の紹介や展示を行うにあたり、参考とさせていただきます。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
66	13	IV	3 小・中学校における読書活動の推進 (2)学校図書館	学校図書館の利用率とスペースは比例しているか検証が必要だと思う。	各校においては、学校図書館だけでなく、学年ごとの図書コーナーや学級文庫の設置など、様々な場所で子どもが本にふれることができるよう環境整備に努めており、今後も充実に努めてまいります。
67	15	IV	4 図書館における読書活動の推進	たくさん子どもたちが図書館に足が向くように工夫することは大変いいことだと思います。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
68	15	IV	4 図書館における読書活動の推進	本を読まない保護者が、子どもに本を勧めても子どもが本に興味を持つかというのは難しい。あまり本を読まないライトな大人に向けて本の良さをアピールするのも重要である。 本が好きでよく読む人のおすすめの本の紹介などはSNSで情報発信をしてほしい。また、各種ランキング形式で紹介するのもよいのではないか。 小中学生については、例えば本を借りて読んだら感想文なりの本のイメージで絵を描いてきたりしてくれたら、(複数回もってきたら)図書カードがもらえる仕組みなど。感想文やイラストはどこかで紹介する場所もあっていいかと思った。	保護者の読書に対する興味・関心が高まるよう、かぞくぶっくぱっく事業の利用促進や読書に関する情報提供に努めるとともに、いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
69	15	IV	4 図書館における読書活動の推進	子どもの環境・親の環境でなかなか本の読み聞かせや読む機会のない人が多いと思う。少子化での小学校廃校でさびしくなった各地域の現状で、子どもや地域が気軽に、読書だけの目的でなくても人が集まり地域のコミュニケーションの場所となれるような図書館であってほしい。	地域に関する写真展、図書館まつりの古本市や映画鑑賞会など、地域の方が気軽に集う場となるよう、今後も各種事業の充実を図ってまいります。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
70	16	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備 (移動図書館)	<p>図書の購入は、若い保護者の家庭では負担が大きくなることも考えられる。移動図書館の利用促進は大変結構な事業だと思う。</p> <p>しかし、台数が少なく、巡回も火曜日から土曜日まででは、仕事を持っている保護者の利用は限定されてしまうと思う。日曜祝日も利用可能となるか。</p> <p>また、学校には図書室があることから、第2次計画の中で台数を増やすなどして地域巡回サイクルや立ち寄り場所をもっと多くすることはできないかと思う。</p>	<p>移動図書館については、従前からの巡回場所に加え、日数を増やして運行することは、現状では困難であります。</p> <p>なお、巡回場所については、利用状況等を踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p>
71	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備 (移動図書館)	<p>移動図書館の巡回について、地域の自治会と連携を図り子育て世代の人が地区の会館に集まり本読みと併せ色々な情報交換の場となれるように期待する。</p>	<p>移動図書館の巡回場所については、利用状況等を踏まえながら、引き続き検討してまいります。</p>
72	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備 (移動図書館)	<p>自分が住んでいる地域には、数年前まで移動図書館が巡回し、好きな本を借りることができて大変便利でよく利用していたが、これがなくなり大変不便でぜひ復活を強くお願いしたい。</p>	<p>移動図書館については、利用状況等を踏まえながら、巡回場所を決定しておりますので、ご理解願います。</p>
73	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備 (移動図書館)	<p>移動図書館(いそっぷ号)のような形で各保育園をまわるといのはどうか。お迎えの時間頃に合わせると親子で絵本を見たり探したりできるのではないか。忙しい時間帯(保護者)だったり、駐車場の問題や勤務される職員の方の勤務時間などたくさんの課題もあると思うが。</p>	<p>保育園への送迎時間に合わせた訪問は、駐車場の確保の問題や、個々の送迎時間が異なるなど巡回時間の設定が難しいことから、巡回は困難であると考えております。</p>
74	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備 (移動図書館)	<p>秋田市は交通の便が悪いので車がない人のため、是非地域を巡る移動図書館の周知に努めてほしい。</p>	<p>より多くの方に活用していただけるよう、今後も移動図書館の周知に努めてまいります。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
75	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備	本の紹介の方法として、何才向けの本なのか図書館の本を見てわかると選びやすい。(河辺分館は選びやすい。) 気分が落ち込んでいるとき、元気になりたい時、冒険好きな君へ、動物が好きになれる本などジャンルを分けて紹介すると良いのではないかと。	児童書については、各図書館において、0～2歳児までの絵本コーナーを設置しているほか、3歳児以上向けの絵本、読み物、調べ学習用のノンフィクション、紙芝居などの分類ごとに配置しております。
76	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備	どの図書館もそうだが、大人を図書館に呼び込みたいなら別だが、もっと子どもたちに重きを置くのであれば、映画化された話題の原作本をポップ付きで紹介したり、芸能人がおすすめていた本を並べてみたり、わかりやすくなじみのある部分から本に触れるのが入りやすいと思う。 季節に応じた子ども達向けのコーナーをもう少し充実してほしい。夏休み、冬休みなどの課題のためにおすすめの本を並べたり、進路に悩む子ども達のためのコーナーなどもあると心強い。本屋にあるように一言二言メッセージがあるだけでも手に取る率は上がる。 図書館へ行くと不安が解消される仕組みづくりはほしい。また、大人と学生の学習スペースは(時間で区切るなど)はっきりわけた方がよい。大人がいるスペースは子どもはとても入りにくい。 学習スペースについては、仕切りが狭い、ライトのスイッチをスペースごとに個別にしてほしい、荷物を置いて場所取りをされるのが困る、という話も聞いた。	子どもの興味・関心を高める本の紹介や、子ども向けのコーナーの充実、展示の工夫に努めてまいります。 また、閲覧スペースは様々な目的で利用されており、年代別に時間で区切ることなどは困難ですが、引き続き読書環境の整備に努めてまいります。
77	15	IV	4 図書館における読書活動の推進 (2) 読書環境の整備	図書館の親子コーナー(17ページの写真)について、椅子席も用意したら良いと感じた。秋田は高齢社会でもあるので、祖父母とお孫さんの読書もあると思う。高齢の人はいすの方が楽だと思ふ。全国に先駆けてユニークに秋田の様子を発信したら良いと思う。	親子コーナーの靴を脱いで利用できるスペースについては、子どもが自由に動き回れるよう、いすは設置しておりません。なお、周辺には丸いすやベンチなどを設置しております。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
78	16	IV	4 図書館における読書活動の推進 (3)関係機関・ボランティアとの連携	ボランティアの皆さんの活動も素晴らしいと感じた。もし、やってなかったら、交通費や昼食代など予算化したら良い。また、写真を見ると用具や自作もあるようだ。実費支給はしていると思うが・・・。	各図書館で協力を求めたボランティア団体については、謝金をお支払いしております。 また、図書館でのボランティア活動に必要な物品などは、図書館の予算で購入しております。
79	17	IV	4 図書館における読書活動の推進 (4)情報の発信	諸活動の公開はより多くの人に参加できるように色々な公開媒体を使用し、誰が見てもわかりやすいものにしてもらいたいと思う。	いただいたご意見を参考に、様々な方法による情報発信に努めてまいります。
80	17	IV	4 図書館における読書活動の推進 (4)情報の発信	若いお母さんたちは結構図書館のホームページ等から情報を得ているようだ。情報の発信と更新のスピードが求められていると思う。今まで以上に力を入れてほしいと思う。	ホームページやSNS等からの情報発信の充実に努めてまいります。
81	17	IV	4 図書館における読書活動の推進 (4)情報の発信	情報提供はSNSだけでなく、ラジオ・テレビ等のマスメディアも活用した方が良いと思う。	いただいたご意見を参考に、様々な方法による情報発信に努めてまいります。
82	17	IV	4 図書館における読書活動の推進 (4)情報の発信	全体的に目のつけどころが良いので、このまま進めて良いと思う。周知方法だが、たしかにネット社会でホームページやSNSを利用するのも良いが、周知用ポスターを一般公募してみるのには可能か。手作りのあたたかさも秋田の人ならではのカラーが出るかと思う。	いただいたご意見については、情報発信の手段の一つとして参考とさせていただきます。
83	17	IV	4 図書館における読書活動の推進 (4)情報の発信	学校が長期休みに入る前に、図書館の方から学年に合った「おすすめ本」を「図書館たより」にして学校に渡す。学校図書館にはない本があると図書館に行こうとする子ども達が増える。	いただいたご意見については、本の紹介を行うにあたり、参考とさせていただきます。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
84	10 17	IV	IV章 全体	<p>高校生に対する支援方策の記載がないようだが、市としては何も取り組まないのか。第1次計画には記載があり、施策の継続性の観点からは、削らない方がよい。</p> <p>章の構成がわかりにくいように感じた。子どもの成長のステージごとに「現状」、「課題」、「取組」を一気通貫で書いた方が読む側にとってはわかりやすい。</p> <p>今後5年間の取組は、それぞれの開始や終了のタイミングが異なったり、徐々にステップアップした取組へ移行していくものがあり、時系列的に見ると一律にはならないのではないかと思った。工程表や年次計画的なものがあれば、ベターではないか。</p>	<p>第2次計画においては、家庭・地域・学校など、それぞれの場における役割や連携がわかるような章の構成にしており、高校生に対する支援については、「4 図書館における読書活動を推進します」の中で取組を記載しております。</p> <p>第2次計画の主な取組については、初年度から5年間を通して実施することから、工程表などの作成はせず、年度ごとに進行管理をしてまいります。</p>
85	10 17	IV	IV章 全体	<p>幼児には、まず与え、読み聞かせ、本は楽しいものと教えることが大切だと思う。しかし、小学生以上、自分で本を選べるようになってからは、ただ与えるだけでなく、読書が好きになる方策を講ずることが大切ではないか。</p> <p>たとえば、何冊読んだか、何ページ読んだかではなく、読んだ本と簡単な感想(ひとこと、1行以内で良い)を記録させ、親や指導者が時々それを見て誉めてあげることも方法の一つだと思う。</p>	<p>いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>
86	10 17	IV	IV章 全体	<p>読書活動、図書館、関係機関やボランティア団体の連携、家庭・地域の連携などの取組はすばらしいと思う。</p>	<p>素案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>
87	10 17	IV	IV章 全体	<p>全体的には良いとは思いますが、数値目標を設定しないと進行管理がしにくいと思う。難しいとは思いますが、可能な範囲での数値目標の設定があれば、更に良かったのではないかと感じた。</p>	<p>各施策については、年度ごとに事業の評価を行うことで進行管理を行っていきたいと考えております。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
88			計画全般	<p>全体的に良いと思うが、平成24年度に「第1次秋田市子ども読書活動推進計画」を策定した事業実績について、PDCAを踏まえ、足りない部分や重点的に取り組む部分を併せて記載した方が市民にとって、分かりやすいのではないかと思う。</p> <p>写真も掲載されているが、もう少し、ビジュアル化した内容とすれば、更に良かったのではないかと感じた。</p>	<p>第2次計画では、第1次計画で設定した課題に対する取組の成果を検証し、今後取り組むべき施策の方向を記載しております。</p> <p>構成については、製本の際にレイアウトの工夫をするなど、より見やすくなるよう努めてまいります。</p>
89			計画全般	<p>第1次計画の成果・課題と主な取組が明確にされており、大変分かりやすかった。主な取組で前年度を継続するもの・前年度の継続ではあるが今年度重点的に行うもの・今年度からの新たな取組等を明確にすると今年度の特徴が分かり、メリハリが付くのではないか。</p>	<p>第2次計画からの新たな取組については、第IV章の「主な取組」に「新規」と記載しました。</p>
90			計画全般	<p>策定の趣旨に「家庭・地域・学校・行政等が一体となって」とあり、例えば第1章に1項目を追加して、関係する機関や団体の位置づけや役割分担などを整理してみたらどうか。</p> <p>〇〇連絡協議会などの具体的な推進体制があれば、そのメンバーや主な活動なども書いた方が良いと思う。</p>	<p>家庭・地域・学校・行政等を含む本計画の構成については、「第III章計画の目標および体系」の中で整理しております。</p>
91			計画全般	<p>収支の内訳があれば、秋田市が読書にどれだけ力を入れているかがわかると思った。</p>	<p>本計画は向こう5年間の指針を示すものでありますので、収支等の内訳については記載しておりません。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
92			計画全般	<p>子どもに本を読ませるための、ハード面を充実させることに重点を絞って策定された計画だと感じた。計画は、現況、課題、目標として取組と、周到に手際よくまとめられており、読書環境の整備をすすめるという点では立派なものだと思う。</p> <p>ただ、与える側面の完璧さを期したためか、何か窮屈で、類型的という感も否めない。すべて「整備」、「充実」、「支援」、「連携」、「努める」に終始しているからではないか。また、読書させられる子ども・生徒たちに、本へ手を伸ばさせるためのアプローチが欠如しているように感じる。</p> <p>読書推進が法で規定されていることさえ堅苦しいのに、「本を与えるから読みなさい」では、ちょっと反抗してみたくもなる。</p> <p>読書推進計画を展開するに当たっては、本を与えるだけにとどまらず、受け取る方すなわち子どもたちへの対応策についても考えを広げて取り組んでもらいたい。</p>	<p>いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。</p>
93			計画全般	<p>読書は、必ずしも100%良いことであるとは言い切れない。暴力・異常性欲、アジテーションなど、読書＝毒書となることもあり得る。良書を選ぶ能力も育てなければならない。</p>	<p>いただいたご意見については、参考とさせていただきます。</p>
94			計画全般	<p>いかに計画を実施できるかが問題となる。</p>	<p>各施策については、年度ごとの事業評価により進行管理を行っていきたいと考えております。</p>
95			計画全般	<p>推進計画どおり実施した方がよいと思う。</p>	<p>素案に賛同いただけるご意見として承りました。</p>
96			計画全般	<p>子どもの貧困が叫ばれ、秋田市も例外ではないと思う。そのような状況にある親は、絵本どころではないような気がする。そんな子供にも絵本や本の世界が届くように目くばせをお願いしたい。</p>	<p>今後も、すべての子どもが乳幼児期から本にふれることができるよう、ブックスタート推進事業や、4つの図書館、河辺分館、フォンテ文庫および移動図書館による図書館サービスの充実に努めてまいります。</p>

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
97			計画全般	読書した子ども達が享受する、喜び・楽しさ、知的・情緒的満足感、その効果などについても、成果を高めるよう取組啓蒙してもらえればと思う。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
98			計画全般	平成24年度の課題の結果を生かして、平成29年度からの計画に期待している。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
99			計画全般	各種の主な内容の取組内容が大変分かり易い。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
100			計画全般	私の子供、孫も読書を通して図書館の利用をしている。今回の計画に賛同する。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
101			計画全般	子どもの読書活動の推進には乳幼児期から児童期にかけての読書習慣が大切である。第2次計画は大変結構だと思う。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
102			計画全般	素案を読み、すべてに納得、賛同できるもので質問・意見はない。この計画が実り多いことを確信している。私は本を読むことが好きで図書館に出かけ本を借りている。本は人間をよく教えてくれる。計画策定の趣旨に大いに賛同する。この取組に賛同し、大いに応援している。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
103			計画全般	第2次秋田市子ども読書活動推進計画素案を繰り返し読んだが全部網羅されており私が意見したり質問したりする箇所は見あたらない。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
104			計画全般	読書活動の推進計画は各分野においてよく計画を作られていて大いに推進してほしいと思う。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。

「第2次秋田市子ども読書活動推進計画(素案)」に寄せられた意見等について

No.	ページ	章	項目	意見等の概要	意見等に対する市の考え方
105			計画全般	幼児期に絵本を観る読むということは知識を広げるという意味もあり、子ども読書活動は良いことと思う。自分の小さい時に読んだ本を大人になって読んでみると小さい時と違った自分の解釈があることに気がつく。それから、幼児のいる家におみやげを持参する場合は絵本をおみやげに持っていく時が多いような気がする。	いただいたご意見については、子どもの読書活動を推進するにあたり、参考とさせていただきます。
106			計画全般	素案を拝見して、私の小中学校の状況より比べようがない充実した読書環境ではほえましく感じた。	素案に賛同いただけるご意見として承りました。
107			その他	図書館の周辺に防犯カメラの設置を多くし、子どもたちの安全確保の充実に努める。	図書館の管理については、本計画とは別途検討してまいります。
108			その他	特別整理期間の休館日は、長すぎて不便を感じた。もう少し短く出来ないか。本の整理で大変な作業だと思うが。	図書館では、年に1回特別整理期間を設け、蔵書の点検、保存期限の過ぎた雑誌や新聞の入替え、資料の見直し、展示替えなどを行っております。作業にあたっては15日程度の日数が必要であり、市民の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。